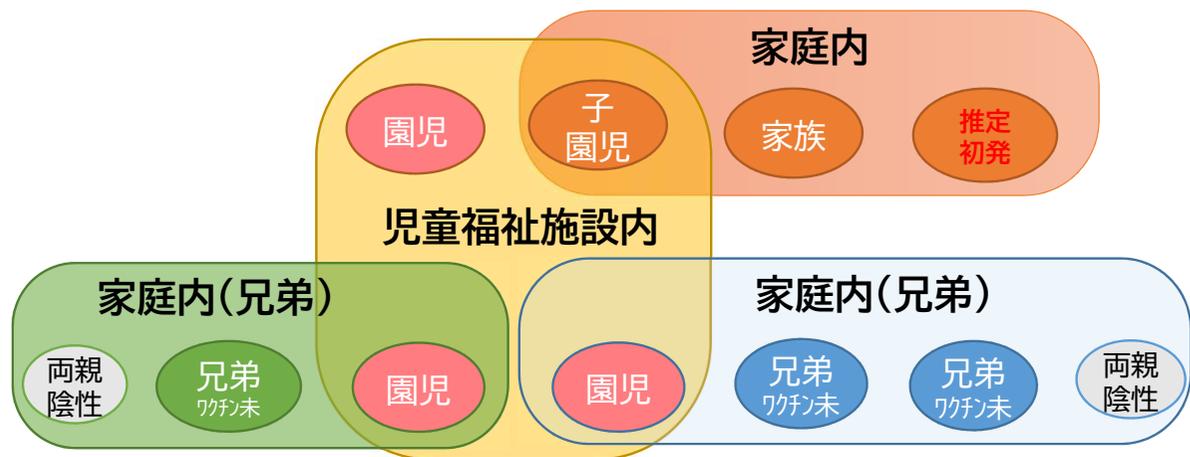


令和4年1月28日

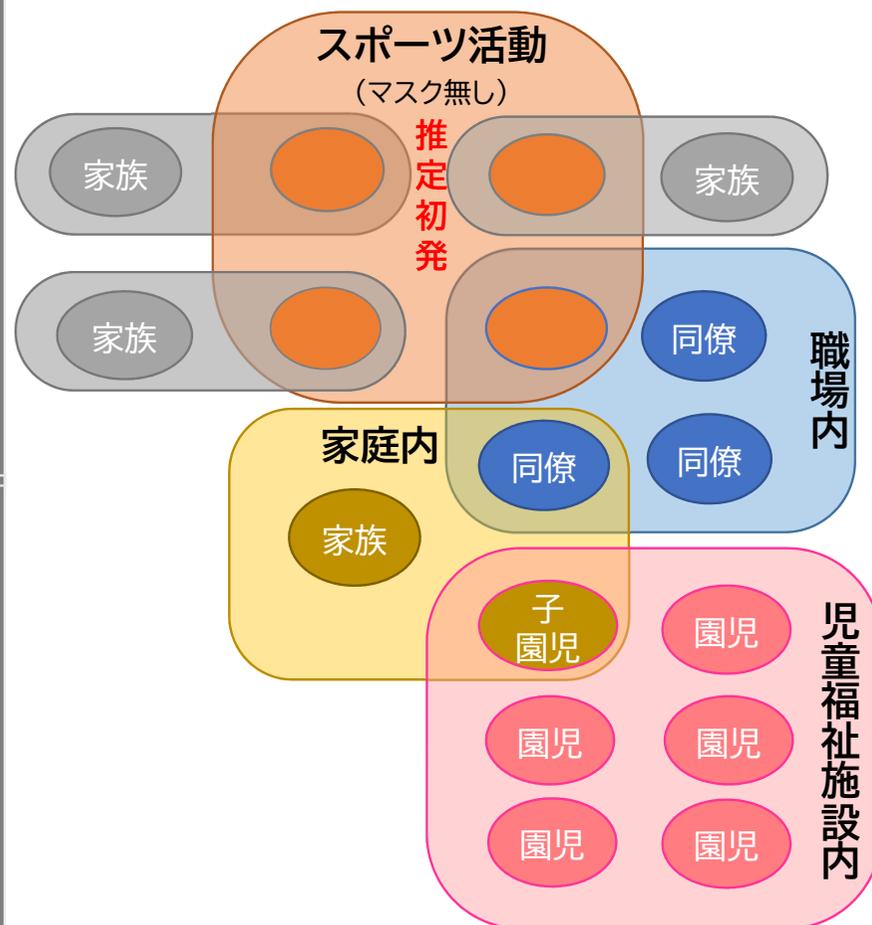
鳥取県知事定例記者会見

第6波の感染連鎖事例

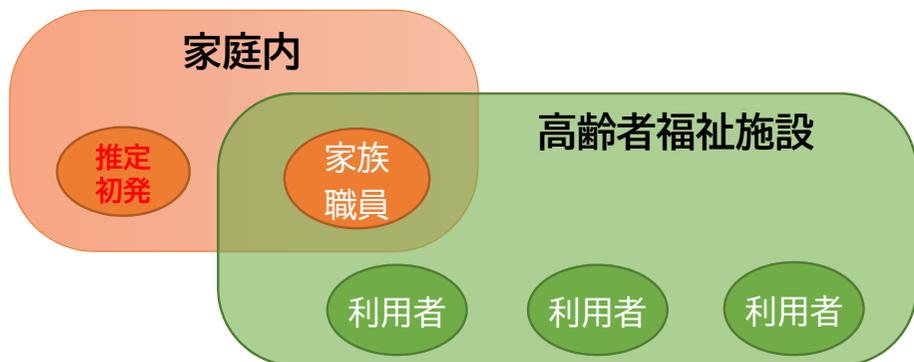
■家庭内感染⇒児童福祉施設内感染(子→子)
⇒家庭内(兄弟)感染 (ワクチン未接種の子どものみ感染)



■スポーツ活動感染⇒職場内感染⇒家庭内感染
⇒児童福祉施設内感染



■家庭内感染⇒高齢者福祉施設内感染



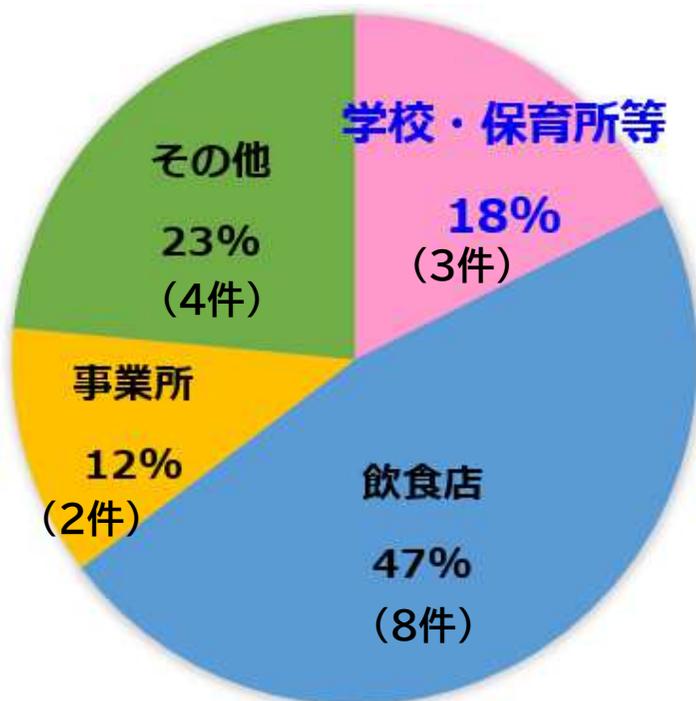
第6波において本県で確認されたクラスター

◎1月以降、第6波において県内で18件のクラスターを確認。

⇒うち5割以上が小学校や保育所等で発生

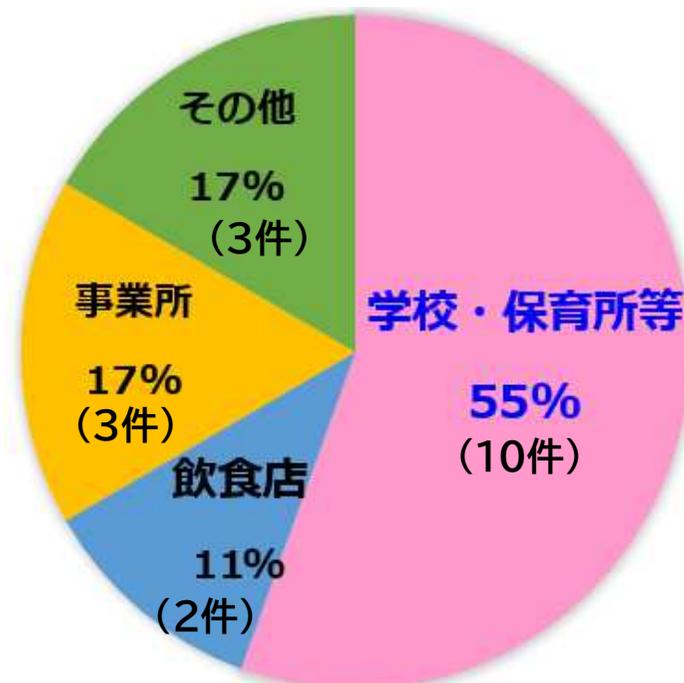
第5波(17件)

発生確認日:令和3年6月30日~令和3年9月14日



第6波(18件)

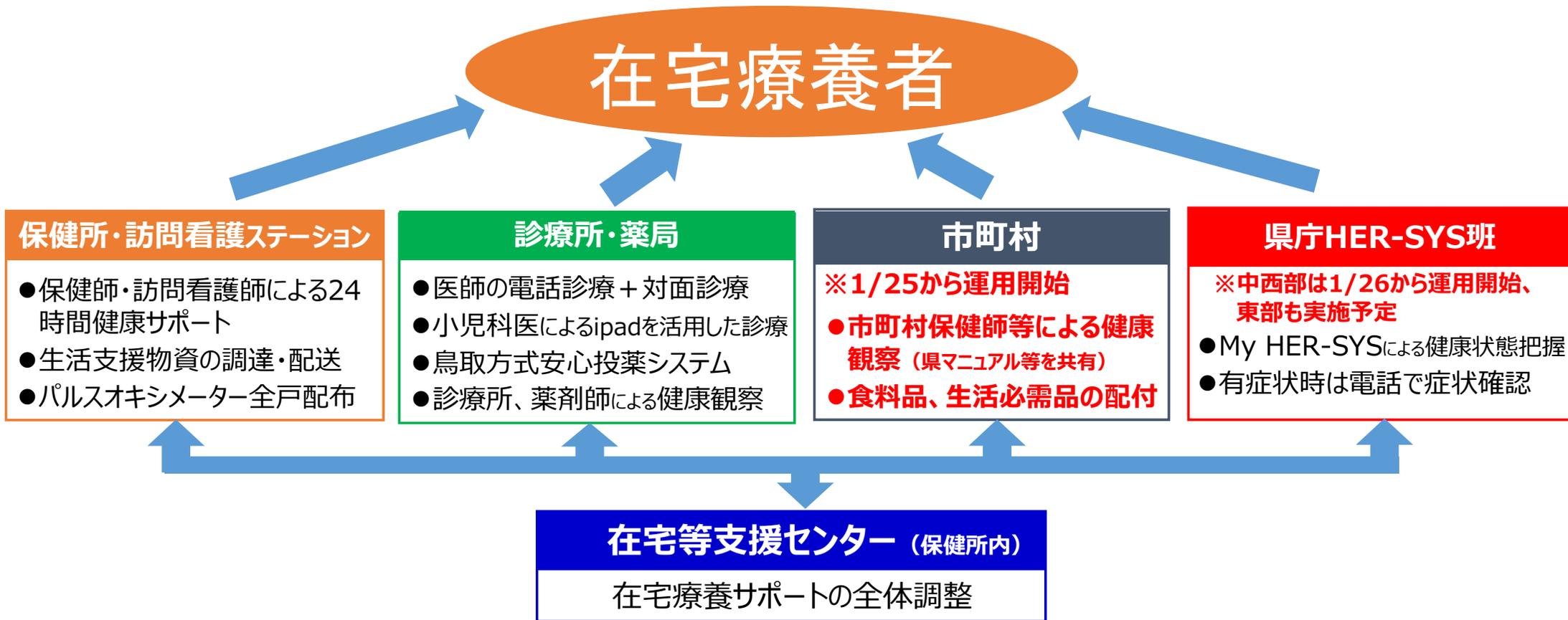
発生確認日:令和4年1月10日~令和4年1月26日



※学校・保育所等には学習塾を含む。

市町村と連携した在宅療養サポート体制

- ◆ 県と市町村が在宅療養に係る連携の覚書を締結（1/25）※東部4町は鳥取市と連携
- ◆ 市町村と連携し、安心して在宅療養できるサポート体制を整備



保健所体制の強化（オミクロン株緊急体制）

- 保健所内のオミクロン株体制を強化するとともに、特命チームとも連携し、増加するオミクロン株対策に職場全体で全力で取り組む

本部長（総合事務所長）

総括（体制構築のため応援調整など）

【保健所】

保健所長

総合調整チーム
(保健師・衛生技師等)

積極的
疫学調査
チーム

PCR検査
調整・管理
チーム

在宅等支援
センター
運営チーム

宿泊療養
調整
チーム

患者移送
チーム

接触者等相談
センター
運営チーム

支援

クラスター対策チーム

増強

地区内の各所属

総合事務所をはじめ地区内全体でオミクロン株対策
(職員75名(米子60名、倉吉15名)を専任で追加配置)

【本庁特命チーム】

子ども関係施設等
感染拡大防止
特命チーム

学校
感染拡大防止
特命チーム

社会福祉施設
感染拡大防止
特命チーム

連携

施設等における感染拡大防止対策の強化・実施

感染が急拡大している地域の子ども関係施設・学校・社会福祉施設等における感染拡大防止対策を強化・実施するため、感染者が発生した際の初動対応を行う特命チームを発足

<子ども関係施設等感染拡大防止特命チーム>

行動記録や活動状況の聴取等の初動対応(クラスターの未然防止)のほか、預かり保育や他の施設等での受入調整など、保育が必要な子どもを守るための調整 ※市町村、県民福祉局と連携

メンバー:子育て・人財局職員+本庁等の衛生技師

対象施設:教育・保育施設、放課後児童クラブ、児童養護施設、大学、私立中・高校、専修学校等

<学校感染拡大防止特命チーム>

ただちに学校と連携を図りながら、行動記録作成支援、活動状況の聴取、接触者等の範囲検討等の初動対応や検査機関とのPCR検査調整、臨時休校等の判断等を行う

メンバー:県教育委員会職員、市町村教育委員会職員

対象施設:小学校、中学校、高等学校、特別支援学校

<社会福祉施設感染拡大防止特命チーム>

クラスター化するおそれがある場合に、濃厚接触者の特定、検査調整を行うとともに、感染拡大防止措置、利用者の状況、施設の職員体制等について確認する

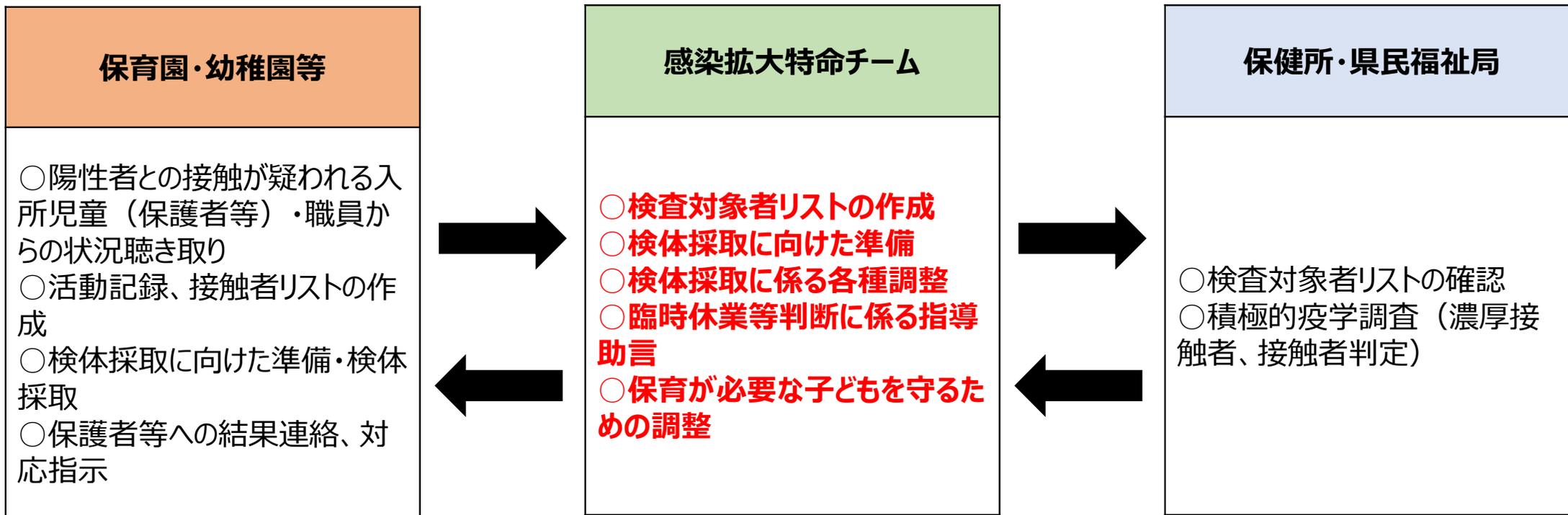
メンバー:福祉保健課、長寿社会課、障がい福祉課等の施設所管課職員

対象施設:上記所属の所管する社会福祉施設(高齢者福祉施設等)

特命チームの業務内容

◆ 特命チームは、これまで保健所が行っていた初動対応を担い、保健所の業務負担を軽減

< 保育園・幼稚園の例 >



※従来保健所等が行っていた赤字部分の業務について特命チームが担う

⇒高齢者施設、学校等においても同様に対応

抗原定性検査キット・検査試薬の確保

- オミクロン株による感染急拡大により、**検査需要が急増**
- 県内医療機関からも、**抗原定性検査キットや検査試薬（PCR、抗原定量）の流通量が不足し、安定的な入手が難しくなってきたとの声**



- ◆ 医師会を通じ、**県の備蓄していた検査キットを医療機関へ提供（910回分）**
- ◆ 社会福祉施設等備蓄分の医療機関への提供を調整（1290回分）
- ◆ 医薬品卸売販売業者に**検査キットや試薬の需給状況を確認し、医師会と情報共有**

⇒特定の製品や業者に注文が集中している場合等は、供給可能な業者を紹介

【県検査機関の対応】

行政検査を担う**県衛生環境研究所は1か月分の検査試薬を確保済**

3回目の接種券をお持ちの方、ぜひお早めにご予約を！

県営大規模ワクチン接種センターで追加接種を実施します

オミクロン株の感染拡大が続いています 感染防止には追加接種が有効です
ご自身のため、まわりの方のため、早期接種をご検討ください！

期 日	1月29日（土）30日（日）	2月1日（火）2日（水）3日（木）
会 場	倉吉シティホテル（倉吉市山根）	県保健事業団（鳥取市富安）
対象者	鳥取県民（全県対象） ※2回目接種完了後6カ月以上経過した方で、接種券をお持ちの方	
ワクチン種類	武田／モデルナ社製	
予約状況 (1/27時点)	消防士、保育士、教員等のエッセンシャルワーカー：150人、高齢者：300人 約450人	本日（28日）から予約受付開始
予約方法 [要予約]	当日まで予約可 ◎電話： 0859-31-9373 (午前9時～午後4時、土日含む、1/28は午後8時まで) ◎インターネット	前日まで予約可 ◎電話： 0570-783-370 (平日午前9時～午後5時、1/29,30のみ土日も受付) ◎インターネット

ファイザーと
モデルナ
交接種で
抗体値アップ！



まだまだ
余裕あり
ます！

※これ以降も、西部地区を含む県内6カ所の会場で追加接種を実施します。予約開始になりましたらお知らせします

県立集客施設における感染拡大防止対策

県立集客施設における施設利用キャンセル料は免除

《新型コロナウイルス感染症対応指定管理施設支援事業》

県立集客施設で開催されるイベント等において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント主催者がキャンセルを申し出た場合はキャンセル料を徴収しないこととし、県が負担します。

- 実施期間 令和4年1月27日(木)～2月9日(水)
(特別警報発令日以降を原則とするが、今般の流行拡大に起因するものについては柔軟に対応)
- 対象施設 県全域の県立指定管理施設が対象

※鳥取空港着陸料及び旅客不定期航路事業者(遊覧船)の占用料の減免措置を実施中

全国初!

県内小学校全学年への30人学級導入に合意



1/24 行政懇談会にて各市町村長と合意 ⇒ 2月議会で提案

【行政懇談会での各市町村長の主な意見への対応】

【教員の確保】

※令和4年度実施予定(第3学年)分

(標準法)187学級 + (30人学級分)17学級 → (必要教員)204人

- 関西会場での試験実施、試験日程の早期化等による新規採用者の確保
- 退職者の再任用推奨
- プロモーション活動(SNSや動画配信等)の充実 等

【教員の資質向上】

・授業改善研修会やエキスパート教員を活用した資質向上に向けた研修

【学力向上】

・市町村との推進会議で情報共有、取組検討
・とっとり学力・学習状況調査等を活用した「**思考力・判断力・表現力**」の育成に向けた授業改善

【その他期待される効果】

【ICTの活用】

・GIGAスクール構想を活用し、学習データの活用・分析による個別最適な学びを実現

【個に応じた対応】

・きめ細かな指導によるいじめ、不登校等への対応の充実

学力向上・学校における喫緊の教育課題の解消

令和4年1月21日(金)末松文部科学大臣会見記録(抜粋) (少人数学級についてのコメント)

鳥取県が検討している取組は大変意欲的なものであるというように受け止めてございます。こうした少人数学級の取組も含めまして、専科指導教員の充実やいじめとか不登校などの教育課題への対応など、**地方独自の措置による教育環境の充実も重要**でありまして、文部科学省としても、引き続き、教育予算の充実に向けまして、しっかりと取り組んでまいりたいと、そのように思っております。

星空がきれいだと思う都道府県はどこ？ = 鳥取県！

☆インターネット情報サイト「ねとらぼ」アンケート調査結果(1月14日～21日)
「星空がきれいだと思う都道府県はどこ？」



鳥取県が第1位

出典:1月24日ヤフーニュース

鳥取砂丘月面化プロジェクト

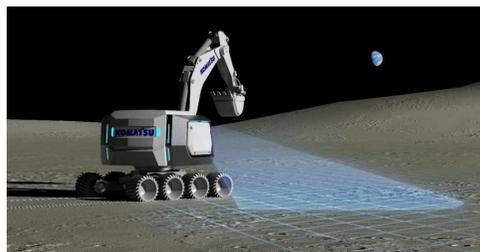
鳥取砂丘を月面に疑似した実証フィールドへ！

鳥取砂丘と月面の類似性や差をデジタル技術により把握することで、鳥取砂丘を月面開発の実証フィールドとして活用可能な環境をつくります。

⇒宇宙産業に取り組む国内外の企業等が集まり交流する拠点へ



- ・きめ細かい砂
- ・起伏に富む地形



鳥取砂丘で
実証試験が
したい

東京都からの人口移動増加率において鳥取県が全国1位

コロナ前後における東京都からの人口移動増加率

鳥取県が全国1位



<東京都からの人口移動状況>

※新型コロナ前後（2019.1～11及び2021.1～11の間の東京都からの人口移動の増加率）

順位	都道府県	増加率
第1位	鳥取県	23.3%
第2位	長野県	19.1%
第3位	徳島県	18.9%

総務省住民基本台帳人口移動調査

令和4年度の取り組み

- 【新規】ANAなど兼業・副業等を活用した「転職なき移住」を本県へ呼込む移転支援制度の創設
- 【新規】民間主体のプログラム支援によるファミリーワーケーションの全県化
- 【新規】都市部企業等のビジネス人材の本県での副業・兼業事例等を紹介するセミナー開催
- 【継続】定住機構、県立ハローワーク、宅建協会、市町村等に配置の専門コーディネーターが連携し、移住相談をワンストップ対応（東京、大阪にも相談拠点あり）

ついに「青谷弥生人」そっくりさん & 名前が決定！



誰が決勝に残るんだ？

どんな名前になったか気になるな～

そっくりさん **215** 名 + 名前 **626** 作品 = 応募総数 **841** (やよい)

”そっくり度”を**AIアプリ**で数値化 → そっくりさん候補**20**名

厳正な審査を経て……**そっくりさん(入賞者)10**名を決定

AIアプリ
“そっくり度”
92.2%～
98.6%

を**選出**

発表は1月31日(月)午後1時～ **乞うご期待!**

YouTubeチャンネルで生配信!! <https://youtu.be/CPGBHHUkK7I>